

平成26年度 調査・研究計画書「当面する課題に関する調査研究」

調査・研究の目的	市町村（広域を含む）やNPO・民間団体等との連携・ネットワークを構築しながら、学習成果を活用して地域活動やまちづくりに貢献する人材を育成する学習プログラムを開発し、市町村等に普及することにより、地域の学習活動の活性化を図ることを目的に本調査研究を実施する。			
主 題	学習成果を活用して地域活動に参画する人材を育成する学習プログラムの開発に関する調査研究Ⅱ			
主題設定の理由	<p>少子化・高齢化による社会活力の低下や都市化・過疎化の進行等による社会のつながりの希薄化などに加え、環境問題やエネルギー問題など様々な問題が指摘されている。</p> <p>こうした中、平成25年6月には第2期教育振興基本計画が閣議決定され、「社会が人を育み、人が社会をつくる好循環」をつくるためには、自立したコミュニティによって地域の課題を解決する必要がある、人々が「その経験や知識・技能を、コミュニティへの積極的な参画により、次世代育成支援や地域課題の解決等の社会貢献に生かしていくことが重要である」としている。</p> <p>これは、一人一人が生涯学習で学んだ成果を活用して、地域活動等に参画していくことに他ならず、その意義については、国や道の各種審議会等において、これまでも幾度となく議論されてきた。</p> <p>しかしながら、道教委が実施している「生涯学習に関する住民の意識調査」によると、「学習成果をまちづくりやボランティア活動などに生かしている地域住民の割合」は、平成23年度が18.7%、平成25年度が23.3%であり、微増傾向であるが、学習成果の地域活動への活用が未だ進んでいない状況が明らかとなっている。</p> <p>こうしたことから、北海道立生涯学習推進センターでは、地域の学習活動を活性化するためには、学んだ成果を活用して地域活動等に貢献する人材を育成する学習プログラムを市町村等に提示していくことが必要であると考え、平成25年度から2カ年計画で本調査研究に取り組むこととした。</p> <p>1年次は、文献、資料、先行研究等にもとづき、学習生活を活用して地域活動に参画する人材を育成するための学習プログラムの開発が求められる背景等を整理し、沼田町、十勝管内3町（上士幌町、新得町、鹿追町）において、地域活動に参画する人材を育成するための学習プログラムの開発を行った。</p> <p>2年次は、沼田町、十勝管内3町（同町）において、その後の事業参加者の地域活動の参画状況や事業参加者への担当職員のフォローアップ等の追跡調査（アンケート調査）を行い、開発した学習プログラムの成果や課題について検証し、地域活動に参画する人材を育成するより効果的な学習プログラムを開発するため本主題を設定した。</p>			
内 容	1 学習成果を活用して地域活動に参画する人材を育成する学習プログラムの開発に関する文献、先進事例等の収集及び分析	2 開発した学習プログラムの成果や課題について検証するとともに、地域活動に参画する人材を育成するための効果的な学習プログラムについて検討		
方 法	これまでに示されている各種調査研究報告等について資料収集及び整理・分析する	1年次の学習プログラムの受講者の地域活動の参画状況を調査し、1年次の学習プログラムの有効性や課題を分析し、新たな学習プログラムを作成する	地域活動に参画する人材の育成のために、行政のかかわりや役割について整理・分析する	調査研究報告書を作成し、HPに掲載するとともに、地域生涯学習活動実践交流セミナーで報告する
計 画	<p>4月 ○調査研究計画の検討</p> <p>5月 ○調査研究計画の立案 ○協力市町村（沼田町、十勝3町）へ依頼</p> <p>6月 ○文献、資料等の収集と理論研究、聞き取り調査（アンケート）内容検討（～7月）</p> <p>8月 ○協力市町及び前年度事業参加者へのアンケート調査</p> <p>9月 ○アンケート回収</p> <p>10月 ○調査研究結果の整理・分析（～12月）</p> <p>1月 ○調査研究報告書の作成（～2月）</p> <p>2月 ○調査研究概要を実践交流セミナーで発表</p> <p>3月 ○調査研究報告書HP掲載</p>			
報告書の様式	報告書を作成し、PDF化し、Web（生涯学習ほっかいどう）で公開（関係者へデータ送付）			